

2020(令和2)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2021年3月20日(土) 1回目：13時～14時 2回目：15時～16時 定員各6名
【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム

各回：近況報告、「認知所になっても展」の紹介、「認知症になっても展」動画視聴

3. 参加者数 1回目 6人（内訳：当事者2名、家族4名、専門職0名）
2回目 2人（内訳：当事者0名、家族2名、専門職0名）

4. 当日の様子

先月は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令中でカフェも中止となり、集まれなかった期間、コロナ禍をどう過ごされていたのか一人ずつ報告した。微熱が出てPCR検査を受けた方や病院受診をした方は、感染していなかったものの微熱が出たことで不安な日々を過ごしたと話されていた。コロナの影響で外出の機会も減っていて、「以前のようにみんなで外出やバーベキューができればいいな。」との声が聞かれた。また、渋谷区が認知症について自分事として考えてみるきっかけとして開催している「認知症になっても展」のトークプログラムがオンライン配信されていた為、皆さんで視聴しアーカイブ配信についても案内した。飲食が会場で不可の為、帰りにシュークリームをお土産としてお渡しした。



★次回予定：2021年4月17日(土) 時間：①13時～14時 ②15時～16時 定員：各6名

以上